

2024 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	青柳 寛		
演習テーマ	地域文化の民族誌的探究		
内容 と 卒業論文の 指導方針	<p>トランスナショナルな現代において「地域社会」はどのような問題を抱え、どのように持続や発展をなし得ているのか？そこに住む人々は互いにどのように交わり、価値観を共有し、自分たちの生活世界を紡いでいるのか？～そんな探究課題を念頭に、自身の活動フィールドとなる地域社会を見定め、そこに通い民族誌的手法（ethnographic research methods）を駆使したフィールドワークを行いつつ、ライフワークにも繋がる卒論研究を実践していただきます。文化が編み出される現場に精通し、自身もそんな現場に参加することで、自身の人生開拓の発端にもなり得る学士課程の括り年次を満喫いただきたいと思います！</p>		
メール・アドレス	aoyagih@k.meijigakuin.ac.jp		
オフィス・アワー	アポイントメントベースで調整		
授業概要	<p>本ゼミでは三段階からなる卒論探究プロジェクトにとり組んでいきます：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「地域還元型調査」に配慮した民族誌のリサーチをデザインし、文化の創作現場を見定め、そこに潜在する問題や探究課題を明確化する、 2) 現地に通じてフィールドワークを実践し、データを効果的に収集する、 3) 学術的なデータ分析と情報の整理を通して現地に観られる価値創作的あり様を明らかにし、現地の代表者と協議しながら「還元型成果報告」を兼ねた卒論にとりまとめる。 <p>クラスにおいては＜文化＞について考察し、リサーチデザインと成果発表、そして関連情報の共有と意見交換を行いながら、自身の探究資質をじっくり吟味いただきます。そして、将来的に文化政策や文化の創作につながるような『地域文化研究』の知的技法とコミュニケーションスキルを体得いただきます。</p>		
学習目標	卒論研究を主眼としたマイフィールドの確立と、ライフワークの開拓。		
授業計画	Wk(s)	2A-Contents	2B-Contents
	1	環境設定：主旨確認、相互紹介等	環境設定：後期目標確認、申合等
	2, 3	文化創作について考える	成果報告ワークショップ
	4-6	リサーチデザインワークショップ	成果報告会・反省会
	7-9	フィールド設定ワークショップ	卒論ワークショップ
	10-13	下見調査と成果発表	ゼミ内口頭試問&問題修正
	14, 15	フィールドワーク協議会	卒論の相互点検&評価・式典
予習	授業計画を予見し、“次回”に備えた予備調査を行っておく。		
復習	学び得た要点を記録し情報を整理しながら、知の体系化を図る。		

授業に関する注意事項	地道な探究を怠ることなく、フィールドワークの成果を卒論につなげていくこと！
教科書	戸田山和久(2012). 『新版・論文の教室：レポートから卒論まで』. NHK ブックス.
参考書	随時指定
成績評価の基準	1) アテンダンス (50%) 2) 卒論研究成果 (50%)
関連 URL	明治学院大学国際学部関係者のグループ Facebook (https://www.facebook.com/groups/278389625647921)
備考	自主性と行動力がものをいいます！所属したからには最後までよろしくお付き合いを！